



2025年 7月号 No.61

夏の訪れを感じ、日差しが強い日も増えてきました。慣れない暑さに、体調不良も心配されます。熱中症対策を行い、睡眠と栄養を大切にしていきましょう。



6月の疾患別利用状況

- | | |
|------------|------|
| ○急性上気道炎 | ○感冒 |
| ○百日咳(疑い含む) | ○不明熱 |
| ○感染性胃腸炎 | |
| ○急性胃腸炎 | など |

事前登録は随時受け付けています

お子さんが元気なうちの登録をおすすめしています。
登録の際は、**事前に電話での予約**をお願いします。
母子健康手帳・健康保険証・こども医療費受給者証が必要になります。必ずマスクの着用をお願いします。

『夏風邪について』

新潟白根総合病院 小児科 中牟礼医師に聞きました

夏風邪とは夏季に小児の感染数が増加する**手足口病**、**ヘルパンギーナ**、**咽頭結膜熱**、**流行性角結膜炎**の4疾患を指します。例年6から8月頃にかけて流行のピークがありました。近年は季節性が薄れてきている印象があります。

手足口病は四肢、口に小丘疹や水疱を認めます。発熱することもあります。口内炎を伴い経口摂取が困難となることがあります。

ヘルパンギーナは発熱と咽頭痛がみられ、口蓋垂付近に水疱を認めます。頭痛、嘔吐、意識障害などの症状がある場合は無菌性髄膜炎や脳炎の合併が疑われます。

咽頭結膜熱はプールを介して感染が広がることが多かったためプール熱とも呼ばれます。発熱、咽頭痛、眼球充血などの症状を認めます。

流行性角結膜炎は眼球充血、眼脂などの症状があります。

手足口病とヘルパンギーナは解熱していれば登園・登校は可能で医師の登園・登校許可証は不要です。

咽頭結膜熱は症状が消退してから2日間、流行性角結膜炎は伝染の恐れがないと医師が認めるまでは登園・登校はできず、登園・登校許可証が必要です。

**いずれも飛沫・接触感染のため、手洗いやうがいをする、
眼をなるべく触らない、タオルの共用を避けるなどの対処が予防に有効です!!**

脱水症に気を付けよう！

- ・喉が渇く前に、こまめに水分補給をしましょう。
- ・水分を多く含む野菜や果物、汁物やスープなどを食べましょう。
- ～水分と一緒に電解質(塩分)を摂ることで、より効果的に脱水を防ぐことができます～



【お知らせ】

- ・利用予約は利用する日の**前日**または**当日**です。
- ・キャンセルは当日の**朝 7:30まで**をお願いします。

新潟市病児・病後児保育事業

新潟白根総合病院併設 病児保育室 みなみつくる

新潟市南区上下諏訪木770-1 TEL 025-378-0755

(受付時間は平日の8:00~17:30 土・日・祝日はお休みです)

キャンセル専用留守番電話 025-374-7730 (24時間対応)